

特例受給資格者失業認定書

① 氏 名	〇〇 〇〇	②性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
③ 生年月日及び年齢	△△〇〇年 〇〇月 〇〇日 (満 67 歳)		
④ 住所又は居所	□□郡△△町〇〇大字□□字〇〇1-1		
⑤ 本書による失業認定の初日	□□〇〇年 5月 16日		
⑥ 本書による失業認定の末日	□□〇〇年 6月 15日		
⑦ ⑤から⑥までの日数	31日		
⑧ ⑤から⑥の失業期間中、失業認定から除かれる日又は期間等			
⑨ ⑧により⑦から除かれる日数	0日		
⑩ 認定失業日数 (⑦-⑨)	31日		
<p>上記のとおり失業していたことを認定する。</p> <p>□□〇〇年 〇月 〇〇日</p> <p>(公共職業安定所名・所長名)      △△公共職業安定所長    □□ □□    <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公印</span></p>			

## 第 20 号様式（第 6 条の 3 関係）（裏面）

公共職業安定所長 様

本書を貴職に提出した者に関する失業の認定については、国家公務員退職手当法（昭和 28 年法律第 182 号）、国家公務員退職手当法施行令（昭和 28 年政令第 215 号）及び失業者の退職手当支給規則（昭和 50 年総理府令第 14 号）の規定による国家公務員の失業者の退職手当に準じた取り扱いとしていただき、下記の記載要領により認定いただくようお願いします。

なお、本書に基づく失業者の退職手当の支払者は、福島県市町村総合事務組合となることを申し添えます。

福島県市町村総合事務組合管理者

### ・記載要領

- (1) ①から④欄については、本書を提出することにより失業の認定を受けようとする者に関する事項を記載願います。
- (2) ⑤及び⑥欄については、本書による失業認定の初日と末日をそれぞれ記入願います。
- (3) ⑦欄については、⑤欄に記載された日から⑥欄に記載された日までの日数を記入願います。
- (4) ⑧欄については、⑤欄に記載された日から⑥欄に記載された日までの間に失業していた日と認められない日又は期間について当該理由とともに記入願います。
- (5) ⑨欄については、⑧欄により失業していたと認められない日の総日数を記入願います。
- (6) ⑩欄については、⑦欄に記載された日数から⑨欄に記載された日数を除して得られた日数を記入願います。
- (7) 記入された事項を訂正される際には、訂正印を押印願います。なお、その際の訂正印は、本書の認定に使用される印を使用願います。